



笠松中学校新聞「総合的な学習の時間」

1年生 郡上ふるさとと研修 5月27日(月)～28日(火)



郡上ふるさとと研修では、1年生は「郡上について」「郡上おどりについて」「狩猟について」「食品サンプルについて」各クラスの班ごとで事前に調べ、学んだことを交流しました。

郡上おどりについて調べた班は、400年以上の歴史があるおどりであること、毎年、盆踊りの時期になると全国各地から人が集まることなどを学び、クラスの仲間と知識を共有しました。



写真右上:食品サンプル作り体験
写真右下:猟師の安田さんによる講話
写真左上:郡上おどり保存会の演奏
写真左下:郡上おどりの体験

研修が始まり「郡上おどり保存会」会長の藤田さんに話を伺った際、「好きだから」「生きがいでだから」郡上おどりを盛り上げ、伝統を継承しようとする人々の姿に、感動を覚えました。

郡上に暮らす人々が、地元を愛し、誇りを持っていることがわかり、生徒達は自分達にとってのふるさとである、笠松の良さを考えはじめました。

継承しようとする人々の姿に、感動を覚えました。この言葉が生徒達の印象に残りました。「自分達も生きがいを言えるものを見つけたい」と思える講話でした。

2年生にとって、愛知県篠島での二日間は、仲間と共に協力しあうことができた貴重な体験でした。

漁船に乗りクルージングをしたり、砂浜でレクリエーションや、魚のつかみ取り競走などを行い、仲間と思い出を作りました。

2年生 篠島キャリア研修 5月21日(火)～22日(水)

写真左上:民宿の方の講話
写真右上:アジの干物作り
左下:篠島の風景
右下:クルージング



1日目 仲間と一緒に海での活動を行い、たくさん笑い、たくさん話をすることで時間や感情を共有することができました。特に、魚つかみ取り大会では、自然と声援が大きくなり、走者は必死な姿でその声援に応えていました。みんなの必死な姿が忘れられません。

2日目 キャリア講話では、島で働く方の話を聞きました。収入が安定せず、危険がある漁業が続けられるのは、「自分たちには漁業しかない」という覚悟があるから、という言葉が印象に残っています。私達は今後自分で自分の道を決定します。覚悟をもってその道を進んでいける人になりたいと思いました。

振興・防災の5つのテーマで学びました。

研修の2日間を終え、現在は学年で、自分達の故郷、笠松の名品は何か、どうPRするかを考えています。動画撮影でPRするのはどうかなどアイデアを出している最中です。

振興・防災の5つのテーマで学びました。

研修の2日間を終え、現在は学年で、自分達の故郷、笠松の名品は何か、どうPRするかを考えています。動画撮影でPRするのはどうかなどアイデアを出している最中です。

研修 6月12日(水)～14日(金)

写真右上:学級別研修の様子
平和宣言左の写真:杉山桃胡さん
写真左下:平和記念公園の碑巡り



今年の研修は「広島復興研修」と銘打たれ、復興への取り組みに触れることに重点をおきました。原爆被害からの復興、平和への願いを込めて取り組む人々の生き方に触れる事で、復興を成し遂げたエネルギーの源や平和への姿勢を知り、自分達の将来に役立てようと、生徒達は広島に向かいました。

被爆体験の講話を聞き、原爆ドーム前で平和セレモニーを行いました。

研修前の平和学習から、自分達は何をやり遂げるかを考えた「笠松中学校平和宣言」を、当日のセレモニーでは代表の杉山桃胡さんが発表しました。

夜にはアナウンサーの杉浦圭子さんを招き、「ヒロシマ」をテーマにした作文コンクールを開催しました。

笠松中学校 平和宣言

青空のもと暑い日差しが差していた1945年8月6日。広島市の皆さんは、警報が解除され、いつもの生活をしていました。しかし、そこに世界で初めて、原子爆弾がこの地広島に投下されたのです。

74年前、いきなり落ちてきたその原子爆弾によって、それまでの日常が崩れていきました。たくさんの命が一時的に奪われ、心も体も傷つけられました。

私たち笠松中学校光学年は「栄光」を突破してゆるぎない自分を確立する～を学年スローガンとして、今、この地広島で戦争の恐ろしさや争うことの醜さを学び、多くの人々の努力で今の私たちが日常生活をおくれることに感謝しながら3日間、平和について学び、考えていきます。

今私たちにできること、これから3日間でこの広島で学んだことを忘れず、学校の仲間や地域の方々との、関わりや思いやりを大切にしていきます。そして、今できることに精一杯取り組んでまいります。

ここに私たち光学年205名は、今日の社会が求める平和の実現に向け、今実現できる最善の未来の形を考えていき、実践していくことを宣言します。

一、人として当たり前のことを誰もが当然のようにやりとげられる学級学年をつくります。

二、人として身の周りの人を大切に、助け合って全員が自分の進路に向けて進みます。

辛い思いをした後も、自分何ができるかを考え、活動している杉浦さんの生き方を受け止め、生徒達は講演の後、自分の生き方を見つめ直しました。

一人一人の存在は重い「盤」について話されました。



発表 10月30日(水)

写真上:3年生発表
写真中:2年生発表
写真下:製作物販売



愛学級 6月19日(水)

見学で学んだことを生かし製作

地域発表では、各学年が課外活動で学んだことを、プロジェクトに写しながら話しました。各組の代表が、それぞれの学ぶテーマ、実際に教わったことを話し、今後の展望を伝えました。パネルディスプレイも行われ、発表の後、実際に製作したものを販売する愛学級も盛りあがりです。

岐阜大学教育学部附属中学校に訪問し、自分たちの手で製作したトートバックなどをフェアで販売している縫製班の作業活動を見学しました。

附属中学校の生徒たちの作業の様子から、「速さよりも美しさ」を大切にしていることに気づきました。「お客様に喜んでいただける製品にしたい」という思いを学び、愛学級での製品作りにも生かして取り組んでいます。



写真上:ミシンで製品作り
写真下:見学の様子

Have a nice day December

良い休日です!

mas wishes come true!
あなたの願い事が叶いますように。

warm, joyful Christmas this year.
あたたかく、喜びに満ちたクリスマスでありますように。

ssing.
クリスマスの祝福を。

h your happiness. From Santa Claus
あなたの幸せを願っています。サンタクロースより

mily peace and love at Christmas and always.
あなたの家族に平和と愛に満ちたクリスマスが訪れますように。

このコーナーはゆる〜く、なんとな〜く毎月、英語を吸収するコーナーです。何となく毎月見ているうちに英語に興味が出ていくはずですよ。

メリークリスマス以外のメッセージ

メッセージを贈ろう!

クリスマスメッセージのバリエーション

今月のイングリッシュ

vol.3

kids も youth も adult も

株式会社 家田鐵工所 HIGH TECHNOLOGY IDEA IRON WORKS

代表取締役 家田倫作
〒501-6065
岐阜県羽島郡笠松町門間1832
TEL.058-388-2320 FAX.058-388-2353

各種学校教材・書籍・雑誌・検査用紙・教具

株式会社 新光社

代表取締役社長 竹田 誠治
〒500-8335 岐阜市三歳町4丁目2番14
TEL058-215-0800 FAX058-215-0803
E-mail shinkousha@eat.ocn.jp

かさまつ FUTABA ふたばようちえん

〒501-6064 羽島郡笠松町北及66番地
TEL 058-387-9155 FAX 058-387-9156
http://www.tsumiki.ed.jp/

郷土の発展と人の心の豊かさを目指して

株式会社 加藤組

代表取締役 加藤 大武
住所: 岐阜県羽島郡笠松町内城寺1433
TEL: 058-387-0101 FAX: 058-387-6180
http://www.51katogumi.co.jp

株式会社光製作所 HIKARI MANUFACTURE CO.,LTD.

代表取締役名誉会長 松原 登士弘
代表取締役会長兼社長 松原 功
岐阜県羽島郡笠松町中野 248-3
TEL: 058-387-4361 FAX: 058-387-7520

自慢の看板商品「飛騨牛コロッケ、飛騨牛カレー」
アミカさん、こむぎ家さんにて好評発売中

大栄食品株式会社

本社 〒501-6065 岐阜県羽島郡笠松町門間 2288 番 1
TEL 058-388-2366(代) FAX 058-388-2367

パートさん 募集

【業務拡大】新加工場開設のため

【時給】860円～900円【休日】日曜日
【時間】8:00～12:00・9:00～15:00 (時間は応相談)
【住所】羽島郡岐南町若宮地 2丁目233番地の1
【職種】野菜・果物の袋詰め

新倉庫

ギャバンス(株)